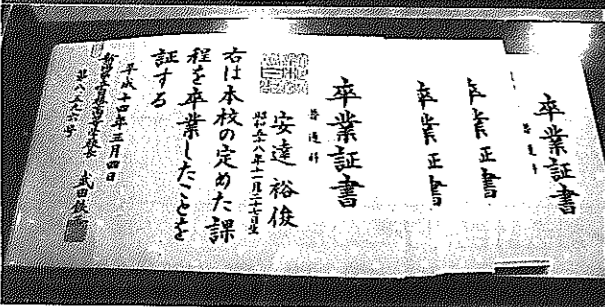
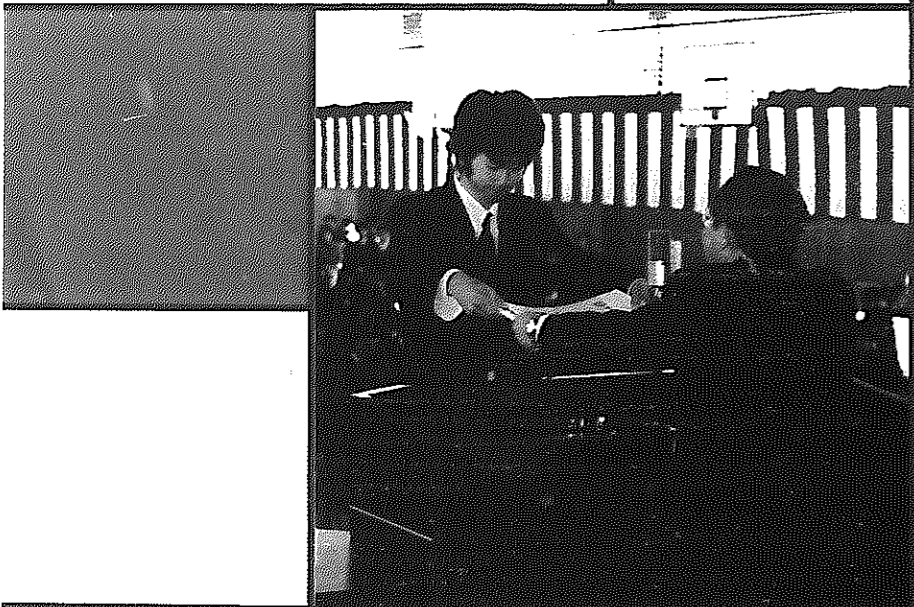




広報 しろね

特集 平成14年度予算と施政方針

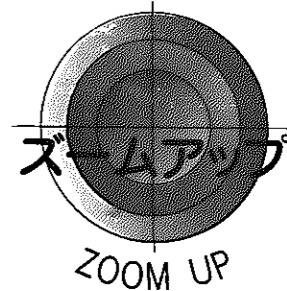
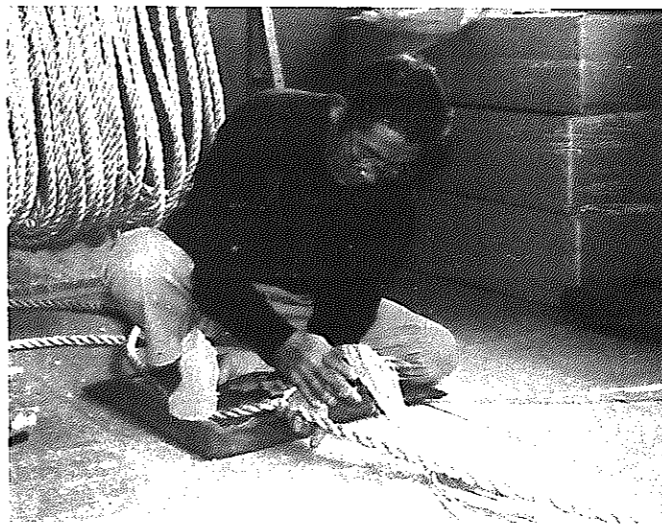
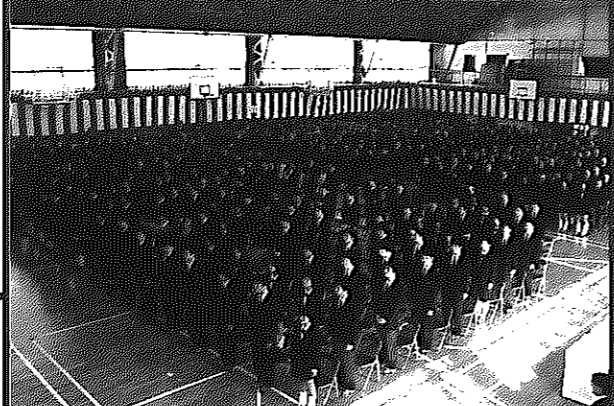
4. 1
2002 No.612



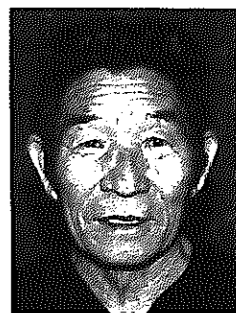
CONTENTS (もくじ)

- 平成14年度予算と施政方針..... 2~7
- 市町村合併を考える③..... 8、9
- 介護保険事業計画等を見直します.....10、11
- 市政クリップ.....12
- まちの話題、おしゃべりさろん.....13
- お知らせ.....14~17
- みんなのページ.....18
- ズームアップ.....20

表紙 白根高校卒業式(3月4日)



凧網作りに全身全霊をかけて



関根喜一郎さん

中ノ口川を挟んで繰り広げられる白根大凧合戦は、凧と凧の網を絡ませて引き合い、網を切り取るという綱引きです。合戦に勝つためには強い綱が必要で、それには優れた編み手と強い麻が相まってこそ出来上がります。

今年、大凧「桜蝶組」の網を編んだ関根喜一郎さん(六十九歳・日の出町)は、この道二十年の大ベテラン。これまで、数組の巻凧チームや大凧「弁慶組」と「桜蝶組」の網を編んできました。「初めて網を編んだときは、太さが途中で変わったり、凸凹になったり、大変でした。それから必死になって覚えましたよ」と関根さんは話します。

凧網の製作は、麻を細かく裂き、それを数本束ねて一定量に分け、その分けた麻を合わせて直径約十五ミリの二本よりの網を編み、そこへ三本目を加えていきます。「凧網は一日に二、三メートルしか製作できません。引き手の力が三本の網に均等にかかるようにすることが一番大切なことです。約一カ月間、全身全霊をかけて編みました」と関根さん。「切れてしまうのは時の運。それより凧合戦の五日間が晴れて、北風が吹くよう願っています」と笑顔で話してくれました。

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

▶数字で見る市勢 ※3月1日現在 ※()内は前月比

人口	40,778人(-4人)
男	19,994人(+8人)
女	20,784人(-12人)
世帯	11,281戸(+8戸)
出生	34人
死亡	29人
転入	66人
転出	75人

編集ルーム

◎4年前の3月中旬に友人と行ったスキー場は、雪が少ないためコースが狭く、山肌むき出しの最悪の状況でした。◎当時スキーをしていた私は、林間コースを滑っている途中で操作を誤り、コース外に突っ込んで雪のない石の上を数メートル滑ってしまいました。◎この出来事は、私がスキーからスキーボードに変える契機となり、友人の間では今でも伝説となっています。(た)

大 国 凧 (香川県綾北地方)

明治初期から揚げられていた凧です。祖父が創始した「大凧」の骨組みが、小屋に眠っていました。それを孫の中村梁幸さんが、幼い日の記憶をたどって復元しました。大黒の「黒」を嫌って、大凧主命の「大凧」にしたのだとか。

香川は凧どころです。多彩な凧が楽しまれています。「大凧」に似た形の「つりがね凧」や「だるま凧」も揚げられています。強い風でないと揚がりにくい「大凧」は、これらの凧にやや押し気味で、衰退しました。中村さんは現在、奈良県生駒市在住です。「大凧」をひっさげて、全国

あなたも凧博士

文・田村和雄 (しろね大凧と歴々の館運営委員会委員)



の凧揚げ大会を飛び回っています。また、多く凧も集めて、ついに自宅に博物館を開設してしまっただけです。「大凧」は中村さんにとって、祖父をしのび、幼い日の記憶をたどる郷愁の凧です。